

水に親しみ、水に感謝する：
むかし多くの家庭に自噴井戸あり 水とは切っても切れない大垣



撮影：2015年2月（岐阜県・大垣市 八幡神社境内の自噴井戸）

◆神社境内には「風神」の龍田神社と「水神」の廣瀬神社

八幡神社には度重なる凶作・飢饉から救われるために、古くから奈良県にある龍田神社と廣瀬神社の社が鎮座されています。この八幡神社入口近くを流れる水門川はかつての大垣城の外堀であり、自噴井戸とともに大垣市を象徴する水のテーマとして市民に愛着ある存在です。

◆どこにでも自噴井戸のある「水の都」

大垣市内では深さ150mの井戸を掘ると地上の1m下まで勢いよく自噴水が湧いてきます。このように自噴水をテーマにした“交流広場”が市内いたるところで見られます。

岡村幸二（JRRN会員）